



Data

監督: ダン・チャオ / ユー・バイメイ

出演: イェン・ニー / ウー・ジン /
ワン・ユエン / ダン・チャオ /
ワン・ズーウェン / スン・
リー / ユエ・ホン

👁️👁️ みどころ

中国は広いから、飛行機網はしっかり整備されている。しかし、ファーストクラスに座って故郷に凱旋しているセレブの隣に座ってきた“自称リンゴ商”の男は何者？ひょっとして詐欺師？

“インフルエンサー”って何？中国、陝西省のムース砂漠でおいしいリンゴがホントに作れるの？そんな話題も含め、第4話のあっと驚く面白さをしっかり味わいたい！

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■中国映画には詐欺師まがいの物語がよく似合う！■□■

レオナルド・ディカプリオが主演した『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』（02年）は天才詐欺師の物語だった（『シネマ3』93頁）が、私の持論では、詐欺師の主人公が最もよく似合うのは断然中国映画。1本目の『続・Hello 北京』の名優、葛優（グオ・ヨウ）なんか、詐欺師の役をやらせれば、そりゃ最高！

他方、『イチカバチカー—上海新事情』（00年）（『シネマ5』340頁）はリストラされた労働者を主人公にしたタイトル通りの面白い映画だったが、そこでは“儲かる話”を巡るインチキめいたストーリーが次々と展開していった。また、張藝謀（チャン・イーモウ）監督の『幸せ三部作』の1つである『至福の時』（02年）（『シネマ5』199頁）は大連を舞台にした面白い映画だったが、涙、涙また涙の感動作である同作も、よく考えてみれば、通貨偽造罪と詐欺罪は成立するか？という法的論点を含む詐欺師まがいの中年おじさんの物語だった。

他方、フーテンの寅さんは、バナナのたたき売りはやっていますが、それはレッキとした仕事で、決して詐欺師ではない。邦画ではそんな寅さんがピッタリだが、中国映画では詐欺師まがいの物語がよく似合う・・・？

■□■第4話の主人公も詐欺師？同級生は本物のセレブだが■□■

第4話の主人公は、導入部の飛行機内の言動でたちまち詐欺師ぶりを露呈してしまう男、喬樹林（鄧超（ダン・チャオ））。マネージャーと共にファーストクラスに乗り込んできた女性、閆飛燕（閆妮（ヤン・ニー））は本物のセレブだが、喬はなぜこの飛行機に乗り込んできたの？

喬はファーストクラスの閆の隣の席に座り込み、気安くあれこれ話しかけてきたが、彼の本来の席は一般席。客室乗務員からそれを指摘されると、喬は仕方なく自分の席に戻ったが、「私はリンゴ商」と自己紹介していたこの男は、ホントにムース砂漠で世界一おいしいリンゴを製造し、販売しているの？ひょっとして、この男も詐欺師では？また、喬の話では、喬と閆は同じ学校の同級生だそうだが、それってホント？閆は今、小学校の40周年式典で祝辞を述べるために故郷に向かうこの飛行機に乗り込んでいるのだが、喬はなぜ同じ飛行機に？

■□■セレブのインフルエンサーはご招待！だが、この男は？■□■

私はAKB48の『ヘビーローテーション』はよくカラオケで歌っていたが、『インフルエンサー』が発売された時は、そもそも『インフルエンサー』とは何か？がサッパリ分からなかった。もし、銀座の飲み屋で「インフルエンザ」とリクエストしたら、馬鹿にされていたはずだ。

しかして、本作に“本物のセレブ”として登場する閆飛燕は、ネットショップで有名なインフルエンサーだ。彼女が今、飛行機に乗り込んでいるのは、故郷の陝西省ムース砂漠にある小学校で開かれる、母校の設立記念日の式典に招待され、久々に帰郷するためだ。それに対して、閆がたまたま飛行機内で一緒になった男、喬は、自称リンゴ商。彼はムース砂漠で、世界一おいしいリンゴを製造し販売しているそうだが、その話はどこまでホント？もっとも、飛行機内での話や小学校に到着してからの話を総合して聞いていると、喬と閆が同じ小学校の同級生だったことは間違いなさそうだが・・・。

■□■第4話の舞台は？広大な果樹園はどこに？■□■

喬と閆の故郷である、陝西省ムース砂漠は、陝西省・内モンゴル自治区・寧夏回族自治区に位置する“中国四大砂漠”の一つだそう。第4話では、閆が喬と共に車に乗って故郷の発展状況を視察するシークエンスが登場するので、私たちも一緒にそれを視察することができる。しかして、喬の言う壮大な果樹園は一体どこに？

第4話でも、注目点は主人公、喬の詐欺師ぶりだが、そんな喬であっても、彼の故郷を思う気持ちや世界一おいしいリンゴを作りたいという熱い思いは十分理解できる。そんな男をどこまで評価できるのかはよくわからないが、中国映画ではそんな詐欺師めいた主人公がよく似合うことは間違いがない。

なお、第4話には『戦狼 ウルフ・オブ・ウォー（戦狼2）』（17年）『シネマ44』（43頁）の監督・脚本・主演の吳京（ウー・ジン）が休憩地のレストラン店の店主役で友情

出演しているので、それにも注目！

2021（令和3）年6月3日記